

茨城キリスト教学園高等学校同窓会報

# ZION

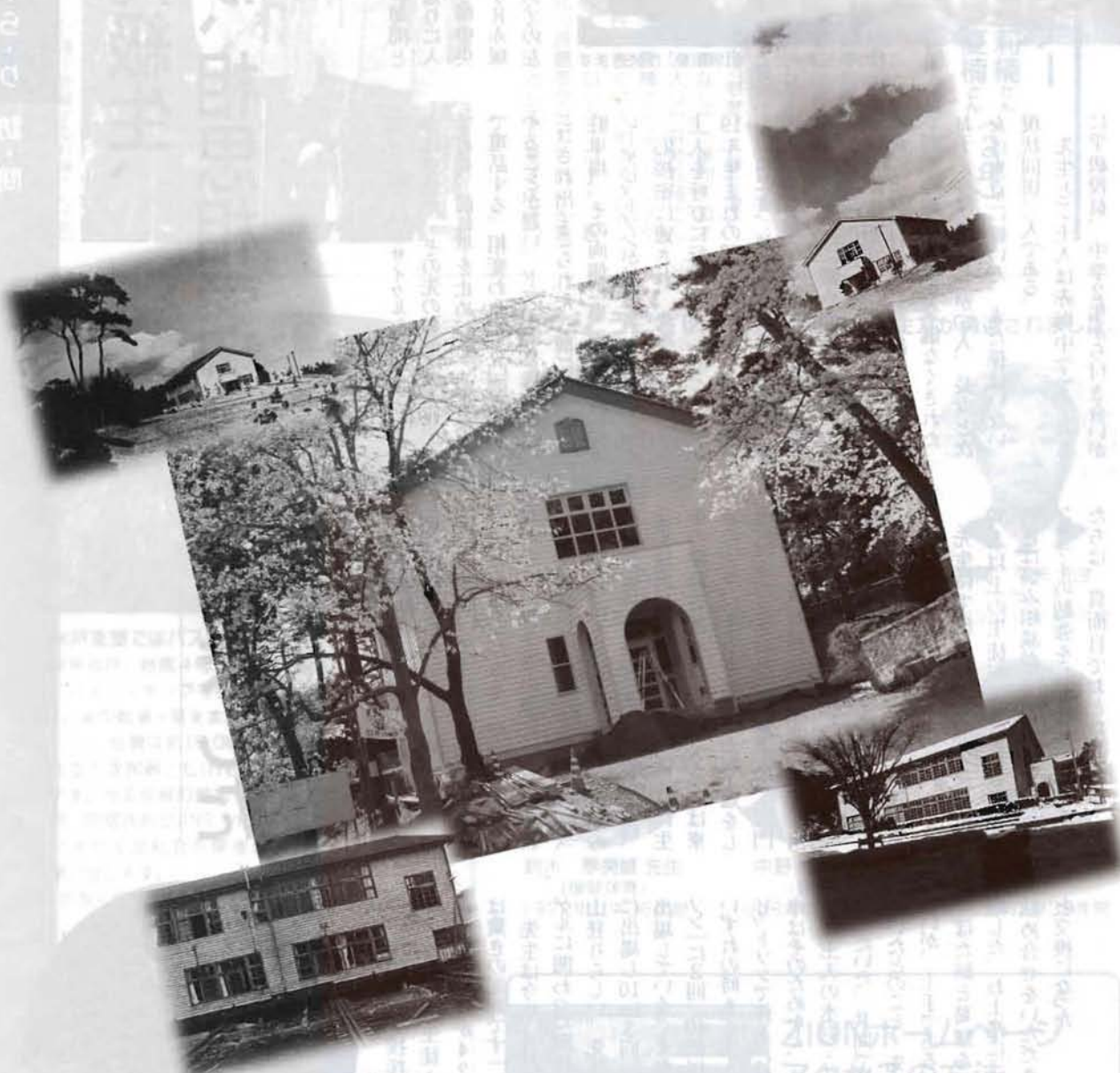
シオン

No.

# 28

2008

同窓会報



完成した「学園記念館（同窓会館）」2008年4月  
とノスタルジック記念校舎クロニクル



# 中学の同級生、

# 十年かけ、相思相愛で結婚しました

養護教諭 海老沢幸子先生 水戸市河和田在住

先生のご都合で午後八時の訪問となった。岩間街道から梅が丘通りに入る。1km弱、また右折し赤塚南中央道路にでる。真っ直ぐ行けばJR赤塚駅に突き当たる。200m行つての左



これからもずっと「相思相愛」が続きます

側、手前にはリサイクルショップがあった。今は更地で、その先の角が先生のお宅である。前に車を止め、そこから携帯で電話する。相変わらず、凸凹コンビ、やることに遅い。ドアが開き先生がニコニコされてこられた。前には大きな駐車場、その両側に車、真ん中にハーレーダビッドソンが鎮座ましましていた。一応接室に通され、先生は二階にご主人を呼びに行く。お二人とも昭和19年生まれ63才、新婚当時の写真をいただき、昔は美男美女であった事が分る。ご主人は大学卒業後、県の住宅供給公社に勤められ早期退職をされた。理由は、母上海老沢こうさんが93才、自分のことは出来るが、脚が弱く心配で退職を余儀なくされた。お子さんはお嬢さんが一人、長女と次女は東京に嫁いだ。まだ孫はいない。現状同居三人である。

先生とご主人は赤塚中学で、ともに学級役員、中学2年から付き合いが始まった。卒業時のサイン帳に「永遠の友に成りたい」とご主人が書いた。高校卒業後、先生は日立病院看護学院入り看護士になる。昭和44年に茨城キリスト教学園中学校に看護助教諭として就任する。その間夏休みは茨城大学の認定講習や日本女子大学の通信教育で養護教諭の資格を取得、3年後高校に移籍。中学高校共に生徒の健康管理をされる。ご主人は東京の大学、100通以上の文通をし、24才のとき結婚。式は上水戸の「門部屋」、新婚旅行は熱海、京都、南紀方面である。「結婚しよう」と言ったのは間違いないご主人の方であるとのこと。だが高校の頃から結婚は決まっていたらしい。

先生に生徒の様子を聞いた「毎日30人以上の生徒が保健室に来ます。殆どは悩み相談が多く、心理学とカウンセラーの勉強をしました。今の子供たちは、真面目でおとなしいですね。いい子達です。挨拶がきちんと出来ません。それと、生徒1000人で永久菌の虫菌無しが425人です。これには驚きの記録です」

先生は今年3月で勇退された。ワングルに関わった関係で、老後は二人で山登りらしい。先生は「勝田マラソン」に出場し10km3回、フルマラソンに4回出場している。それと「潮来ハーフマラソン」に3回、40歳以上で10位に入った。いずれの時もご主人が、あのハーレーダビッドソンで伴走に付いている。あの車はそのためかと、納得した。

ご主人の水彩・スケッチ画を見せていただいた。共同でスケッチ展を何回か開いたとのこと。先生に付き勉強中らしいが、上手である。

ぼた餅と葛餅をご馳走になり、お暇した。お土産に「五條の和菓子」の詰め合せをいただき、「サザコーヒー」と交換になった。

(Y.S.H.S)



24歳で結婚。新婚旅行は南紀方面へ

あの頃を語る

昭和53年

1978

29回生

# ペタンコカバンは必須アイテム



雨宮(長友)宏子

小野崎(沼田)典子

庄司(井戸)聡子

安達和子

和田(戸辺)淳子

黒沢(高須)加代子



## 証言①安達和子

みんなが揃って「オカッパ」にしたので、記念に撮った2年生の時の写真ですね。おしゃれに敏感なお年頃。上着丈を家庭科室で短く縫い直し、アイロンをかけて無事完了! 抜き打ち検査は下級生のをちよいと拝借してセーフ!

## 証言②和田淳子(旧姓戸辺)

リーガルのサドルシューズも流行ったじゃない? 通学カバンにも拘りがある、糸でギュッと縛ってお湯に浸してペタンコにして…。

教科書は殆どの生徒が教壇の下に入れていましたよね。教壇が不自然に浮いてしまつてついに大目玉を頂きました。

## 証言③石崎美奈子

私のはペタンコじゃあなくて、教科書が入る厚型カバン。床に置いても倒れないのよ。真面目な生徒でした。

## 証言④庄司聡子(旧姓井戸)

厳かなXマス礼拝の終盤で、キャンドルサービスのローソクを一齐に吹き消したら、煙が充満して火災報知機が作動。場内騒然一同ビックリ!



## 証言⑤和田

休日のレストランを借りて、Xマスパーティーもしたわね。手作りパスタにカラ揚げに不二家のケーキ。ナポリタンは私が腕をふるって作りました。

## 証言⑥石崎

コーラス部に所属していたのは安達さんと私かな?(集合写真、後列左から6人目が私。ひとりおいて安達さん)Xマスで大合唱したハレルヤコーラスは感動的だったわね。私、現在「歌うたい」をライフワークにしています。先日もコーラスOB会で歌わせて頂きました。

## 証言⑦安達

私の仕事のひとつに、「エレガントマナーレッスン」があるの。その教室に本校の生徒が通っているのよ。偶然でしょう? 在学当時が思い出されて感無量です。

## 証言⑧和田

忘れられない思い出があるのよ。2年生の時、教育実習に来ていた大学生と水戸の書店でバッタリ遭遇! 「先生、どうされたんですか?」とお聞きすると、学校に忘れた日誌を島津先生が届けてくださるのを待っているとのこと。その後おふたりがご結婚されたとお聞きして納得したのよ。



ホームズ典子  
(旧姓池田 27回生)  
東茨城郡城里町在住

## 二人で守る城里教会

我が学園の創立にかかわった教会と同じ流れの小さな教会が石塚にある。ここが典子さんとご主人、北アイルランド人のジムさんとの愛の教会である。

典子さんは国際基督教大学へ進み、宗教のコースを専攻したが、更にアメリカのサンセットバイブルスクールへ留学。そこでジムさんとの運命的な出会いがあった。二人で共にキリスト教伝道という目標を持ち、今、国際色豊かな元気な教会で奉仕している。現在はコミュニティーセンター城里内で、礼拝と英語聖書クラス等の教会活動が行われている。

三人のお子さん(写真は長女のメロディさん=同窓生)も大きくなり、典子さんは英語の塾を運営しながら「人生前向き肯定的」というモットーで教会を支えている。

## 日立方面の同窓生、全員集合!

低迷していた学園地元の同窓会日立支部が、平成17年についに立ち上がった。そのために個性溢れる同期の有志達と、その先頭に立って労を惜しまず働いたのが植木さんである。

高校時代トロンボーンを片手に、ブラスバンドを結成。これも同期の仲間を中心に、全盛期の野球部の応援を買って出たという、なかなかの情熱の持主であるからこそ、今回の支部立ち上げの成功があるといえる。

普段は財団法人日立メディカルセンターに勤務。市民の健康管理に励んでいる。「メタボリックシンドロームの特定健康診査はいいか」と白衣姿の温厚な紳士。これも植木さんの一面。



植木 正俊 (17回生)  
日立市東大沼町在住  
同窓会日立支部事務局



稲見 カツ子  
(旧姓赤田 7回生)  
ひたちなか市大成町在住

## 数学に燃えて45年

女性の数学者と聞くと堅苦しい印象を受けがちであるが、稲見さんはとても優しくソフト。「今は、高卒以来続けている裏千家の茶道のおいこに余念がありません」というお話に納得。

高校卒業後、1年半程日立製作所に勤めたが、数学への夢覚めやらず、当時の茨城大学の文理学部へ入学。卒業後は教師として、水戸三高、二高、勝田高校、そして定年後は母校キリスト教学園高校と、ひたすら数学の指導に専念してきた。

茨城大学で同期だった数学専門の元茨大教授のご主人。これ又数学を教える高校教師の息子さん。と見事な数学者一家である。稲見さんは最近では4才と1才のお孫さんとの幼児教育(?)へ方向転換。大いにそちらも楽しんでいる。



●いま輝いています●  
つめたい小雨降る取材の日、磯崎真美さんは向日葵のような輝く笑顔で現われた。50回卒業の二十六歳、ピュアな眼差しがまぶしい。現在水戸市の実家「ルブラン洋菓子店」の仕事を手伝いながら、造形作家を目指し意欲的に創作活動をしている。小さい頃から手芸やクラフトに親しみ、創意工夫を重ね独自の作品をつくることに夢中になっていったという。高校卒業後はオランダのハーグに語学留学をする。なんとオランダの音楽に魅かれて即、決意してしまったとい

Bright

造形作家宣言!

銀細工・アクセサリ制作に挑む  
磯崎真美さん(50回生)

水戸市千波町在住



う行動派。

ヨーロッパでの暮らしは、洋菓子店を営む両親に育まれた真美さんの感性をさらに豊かにしたようのだ。その頃、銀細工で手のひらにのるほどのピアノとチェロを作っている。同じく銀細工の繊細な簪はコンテストに入選し国立新美術館で展示された。それらの作品に瑞々しい感覚とものづくりへの情熱があふれている。アクセサリ制作にも挑戦していて、ビーズや天然石を使い優雅なフォールムが真美さんらしさ。東京のセレクトショップに出しているがネット販売でも人気がある。今後さらに高い技術を身につけて芸術性のあるアクセサリを制作していきたい

## 息抜きはビッグベンカフェで

「茶髪はダメ! 派手な服装はダメ」と、制服から開放された大学生活に、いきなり先生から水を差された。でも今は、将来医療関係に従事し、人の生命を預る仕事をする者としての心得と納得している。授業は考えていたより厳しく、これから始まる実習授業に期待と共に緊張を覚えている。

祖父、祖母と一緒に住む人間関係の豊かな家庭の中で、病院やデイサービス等で、ボランティアとして働いているお母さんの姿を見て育ったので、自然に看護師という仕事を選択した。

高校の時はサッカー部で部長を務めたが、今は、年1回の練習なしのぶっつけOB戦で満足するしかない。(頑張り!)



小林 峻 (37回生)  
茨城キリスト教大学  
看護学部看護学科2年



小山 京子 (47回生)  
旧姓 日立市大みか町在住

## 母校で学んだ、幸福の選択

どうしてもキリスト教式結婚式をと東京の日本基督教団高輪教会で、キリスト教についての教えを受けて、念願納って昨年の3月にめでたくゴールイン。

就職も、どうしてもキリスト教の聖児幼稚園にと、最初の就職先を振り切って、こだわって仕事を選んで10年。京子さんにとって、キリスト教学園高校で過した3年間は、それからの人生にとって深い意味を持ったようだ。

だから今は最高に充実している。大学時代に知り合ったご主人は公務員で、生活のリズムが合わないことが多いが、新婚旅行で感激した北欧の家具や雑貨で新居を整え、美味しい料理でご主人を喜ばせて、もう結婚一周年だ。

## 平成20年は「修繕」の年

和室に正座し心身統一。基本は今も変わらないが、志龍さんの書道教室「書道研究書粋會」はホームページで全国を駆巡り、同好の友を刺激する。

父の伯葉氏に4才の頃から書道を習い寄道はあるものの、今ではすっかり書道の師として父の跡を継ぎ、月刊誌「書粋」を発行し、自分の書や指導を全国各地の生徒さん達へ発信している。

今年の書き初めは「修繕」と書いた。忙しく身を削るような生活をしている現代人への警鐘である。心と体を修理修正。余裕と潤いを取戻すことを書道を通して教えてゆきたいと。

ところで、ご自分のメンテナンスはテニスとスポーツジムだそうである。



藤岡 淳 (志龍) (37回生)  
水戸市元吉田町在住 書道家

## 夫婦DEシオン

高橋裕二さん(31回生)

千鶴子さん(旧姓滝、31回生)

ひたちなか市東本町在住



お2人は同期生。ご主人の裕二さんはサッカー部に所属する熱血漢児。千鶴子さんは中学からの進学組、やさしい娘さん。千鶴子さんに熱い意気を感じた裕二さんはタックルを開始。交際をして欲しいと求愛を告げると、「父母に相談してから返事します」千鶴子さんからさりげない模範回答。なせばなんと炎が燃えるごときの裕二さんは滝家を訪問をして、両親から「2人だけで会うのは禁止」という条件つき交際が認められた。それから滝家においてのデート。両親公認デートが9年間続いた。そのかきがあり千鶴子さんをゲットに

成功した。裕二さんは建築を学び、現在は、ひたちなか市の井上工務店の常務取締役。千鶴子さんは短大を経て日立大みか工場に勤務。2人は24才で結婚。一人娘のはるかさん(20才)大学生の3人家族。

裕二さんは奇しくも、同窓会の記念館を井上工務店が建設を請負い裕二さんが担当することになった。「心をこめてお手伝いをします」と裕二さん。「主人は実によく働きます。少し亭主閑白ですが、とてもやさしくしてもらってます。健康だけ注意して下さい」と千鶴子さん。



い、と夢を語ってくれた。高校では心かよう友人や先生方に恵まれ、礼拝や聖書の授業は心を豊かにしてくれたとなつかしむ。そんな真美さんは留学中にオランダの教会に通い洗礼を受けた。これからさらにどんな花を咲かせて輝いていくことだろう。

Beads & Silver www.graceandgloria.com

学園記念館(同窓会館)復元

# 募金 最後のお願い

3月末完成しました

現在募金額882万円

## あと一步、あと120万円のお願いです!

●6月総会には、すばらしい記念館を案内します。

学園発足当時の校舎で、シンボルでもあった旧木造校舎が、同窓会の拠点として完成しました。ぜひ学年会やクラス会にご使用下さい。二階建て100坪(当時の2分の1)で一階は合同同窓会事務局(中学・高校・短大・大学)と少人数の集會場所(キッチン付き)、ミーティングサロン、二階は50名以上の会議室、学園の歴史を尋ねる資料館でお迎えます。身障者用トイレやエレベーターも設置しました。

松の林間に設置、「シオンの丘」の近くです。

同窓生と思い出を話し合ってください。寄付予定額1,000万円まで、まだ120万円が不足しております。取りあえず一般会計から拠出しておきましたが、運営に支障も生じます。今一度、最後のご協力拠出お願い致します。

「ZION」送付同封の高校記念館口、の振込用紙をご使用下さい。

尚、「ZION」にはもう一枚広報紙支援の振込用紙が同封してあります。二枚入っております。両方ともよろしくお願い致します。



紹介  
します

### 今年のホーム・カミング・デイに出演する ミュージシャンはこんな方で～す!



山口由美 (29回生)

笠間で陶作に励む「歌う陶芸家」は、「犬のまるちゃんシリーズ」でファンも多い。ギターとユニットを組んで、今年で10周年を迎えた。スタンダードで本格的なボサノバや日本の古いポップスをアレンジして演奏している。最近は、ベースやピアノを加えたコラボで演奏の幅を広げている。曲間の軽妙なおしゃべりにも定評がある。

<LIVE活動>

- ・LIVEハウス:ペーパームーン  
ガールトーク  
サムシングなど
- ・イベント、パーティーで演奏活動



佐藤翔子 (Satoshoko・53回生)

幼少期から、ミュージシャンだった父親やマイケル・ジャクソンのきらびやかなステージ姿に憧れて、5歳よりダンスを始める。深作欣二監督の「バトルロワイヤル2」への出演をきっかけに、タレントとして活躍。昨年2月の「ドリームガールズオーディション」で審査員特別賞を受賞。12月に全国発売されたオムニバスアルバム「BURGER QUEEN」では、フレッシュでポップな歌声を披露している。

- ・4月よりFMいばるん(76.2MHz)で「Satoshoko! ZM」放送開始
- ・HP: WEB TV「ゆるゆる」レギュラー番組スタート



## シオン祭に参加! 収益金を記念館建設の資金に

第59回シオン祭は、2007年11月3日に開催されました。中学、高校、大学の合同開催は、4回目を迎え、たくさんの方でごった返しました。ZION同窓会も専用テントの中で、Tシャツ、マグカップ、手作り布ブローチ、コーヒーなどを販売し、収益(56,755円)は、記念館建設の資金に充てられます。ご協力ありがとうございました。

### 「ZION」発行への寄付のお願い

12,000人以上の卒業生各位への「ZION」発行と送料で200万円以上が必要です。毎年資金が不足しております。一人2,000円以上のご協力をお願い致します。(「ZION」紙同封の振込み用紙をご使用下さい)

## 女子陸上部に

### 期待の双子ランナー

■女子陸上部 黒澤莉楠さん 黒澤夏楠さん (2年)

背筋を真っ直ぐに伸ばし、一点を見据えて走るランナーの姿は美に感動的である。

昨年引き続き、全国高等学校女子駅伝大会への切符を手にした女子陸上部に在籍する、黒澤莉楠さんと黒澤夏楠さんは、田彦中学校で基礎体力をつける練習を重ね、念願の本校へ入学した。都道府県対抗女子駅伝、茨城県高等学校新人駅伝大会等に出場して着実に力をつけている。「2人共成績優秀で真面目な生活態度。人望も厚く、生徒としても競技者としても云う事なし」と顧問の鈴木季美雄先生は語る。物事に動じない大らかな姉莉楠さんは短期集中型。やさしく繊細な妹夏楠さんはコツコツタイプと、性格や勉強法にも個性が覗く。今後はメンタル面での自己啓発、ラストスパート、ロングスパート、腕ふりの改善など、技術的強化の課題をクリアしたいと意欲的である。陸上部の主力メンバーとして、ますますの活躍が期待されている。



1月27日に開催された勝田マラソンで選手宣誓する莉楠さん(左)と夏楠さん(右)

## 支部だより



### ■水戸支部ではバスハイキング

昨年6月、台風4号関東直撃の時、安全を確認してバスハイキングを強行した。行き先は日光白根山、途中戦場ヶ原をまわる。泊りはペンション「もくもく」、会費は約15,000円。特別参加の志田諄一先生と支部員とも16名でした。今年も予定しています。他支部員の参加も大歓迎です。

尚、同窓会総会の日、午前10時から、新記念会館で水戸支部総会を開催します。多くの参加をお願い致します。

(支部長=雨貝洋 連絡090-3498-0227)

### ■ひたちなか支部

支部総会を2月23日、武陵桃源で、30名が参加して開催。(支部長=川又一男 TEL029-272-4093) 事業計画を話し合い、親睦を深め合った。

### ■日立支部

日立支部第3回総会を平成19年11月18日(日)、茨城キリスト教学園高等学校、大会議室で開催。30名程が参加。新しいメンバーも加わり、お手製のお菓子などいただきながら和やかに歓談した。

<次回、第4回総会開催予定お知らせ>

●平成20年11月16日(日) 14時から

●場所 新記念会館(予定)

(支部長=瓦吹堅/事務局=植木090-7178-5531)

ありがとうございました! 6名の先生方が勇退されました。



熊谷 芳郎 先生  
(地歴公民)  
1967年以来41年間



坏 弘道 先生  
(理科)  
1968年以来40年間



岩間 英夫 先生  
(地歴公民)  
1966年以来42年間



鈴木 季美雄 先生  
(保健体育)  
1972年以来36年間



中野 豊 先生  
(数学)  
1968年以来40年間



海老沢 幸子 先生  
(養護)  
1969年以来39年間



## ZIONホームページ アクセスの方法

"yahoo"などの検索ソフトから"ZION 同窓会"と入力して検索し、これをクリックするとアクセスできます。

再度  
校長  
に聞く  
島津和幸  
先生



●中高一貫教育について

本校の中高一貫教育は、「心豊かで、実力のある、自立した国際人の育成」を教育目標に掲げて、2004年度にスタートしました。中高一貫については、一般にその教育課程の効率性が注目されているわけですが、それは勿論のこととして、やはり本校ならではの人材育成を目指していくことが大切だと考えています。

●進学校としての本校の現状と将来について

平成に入って間もなくの頃から、いわば一種の私学ブームとも言える現象が起こってきました。その頃から、本校も一気に進学校としての実績を高めてきたと言えます。今は、その段階から、更に一段高い地平に歩を進めるべく、中高一貫をてこした創意工夫と努力が求められている時だと考えています。

●同窓会に期待するもの

広汎なネットワークと多彩な人材に恵まれた同窓会は、本校にとって、まことに心強い存在です。その存在自体が、本校にとって大きな支えになっていると感じています。入学生の中に本校卒業生の子弟を多数見出すとき、そのことを実感している次第です。同窓会の今後益々のご発展をお祈りしています。

●その他

先頃ある新聞紙上で、世界的な経済動乱から先行き不透明感の深まる中、頼りになるのは家族だけだと考える人が、大多数になっているという昨今の国民心情を取り上げていました。シオンファミリーの絆がどんな時代の変化にも耐え、いつまでも変わらないことを、いや益々強くなっていくことを願っています。

編・集・後・記

ついに記念館が完成した。思えば6年前に、学園が中高一貫教育をすることになり、旧校舎を壊して新校舎を建設することになった。旧校舎とは創立期の校舎。「この校舎は学園文化歴史遺産だ残そう」と、まず我が同窓会が理事会で一声。そして記念館復元の寄付活動が始まった。印象深いのは、台風が大みかを直撃したチャリティーコンサート。常盤線は止り、停電した。真暗い舞台上でヒロ高田のピアノで、青木フキ、星野由美子のジャズが流れた。暗く譜面が見えずコンサートは中止になったが誰も不平を言わなかった。ありがたかった。

記念館の2階からは、あの青い太平洋が昔のまま見える。1人でぶらっと来るのもよし、10人ぐらいでリビングルームで持込みパーティーをするのもよし、編集局も新しい部屋に入れて嬉しい。(響)

お 待 ち し て ま ~ す !  
平成20年度

# ホーム・カミング・デイ

■日時:6月1日(日)AM11:00~PM2:00

■会場:学生会館(元短大学生ホール)

★今年は、2、12、22、32、42、52回生が、ヒーロー及びヒロインです。  
いいことあります。ごぞって出席くださ〜い。  
★差し入れは、もちろん大歓迎です!

●第1部:平成20年度同窓会総会

(お知らせ事項がいろいろあります)

●第2部:「楽しい集い」と「ミュージック・ライブ」



ボサノバユニット

## セニョール・セニョリータ

VO:山口由美(29回生)/G:山田よしお

●ボサノバの国ブラジルへひとっ飛び!

山口由美のおとぼけトークも満開です。

## Sato Shoko (佐藤翔子・53回生)

●2本のギターとドラムのコラボ。

ポップでパワフルな歌声をお届けします。

★先生も出席されます。お楽しみに〜!

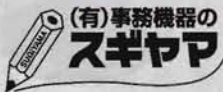
■同窓会事務局:0294-52-3215



フランス菓子 **ルブラン**

水戸市千波町370 TEL.029-241-1991  
http://www.leblanc.co.jp

スッキリ整頓、さわやかオフィス!  
総合事務用機器/日本法令様式販売所特約店



〒316-0036 茨城県日立市鮎川町2-1-38  
(諏訪五差路・油縄子小学校方面)  
TEL 0294-32-0361(代) FAX 0294-35-4536



株式会社 **井上工務店**

井上 美智子 (27回卒)  
井上 朋子 (51回卒)  
井上 聡子 (55回卒)

茨城県ひたちなか市和田町1-10-13  
Tel: 029-263-0211 Fax: 263-0215  
http://www.inoue-koututen.jp



シュークリーム・和洋菓子

## タカラブネ

ポレポレシティ笠間店 0296-70-1827  
長崎屋上水戸店 029-255-0156  
(18回卒)

日仏交流150周年記念

# 水戸巴里祭

10名が出演



シャルル・デュモン



青木フキ  
(23回生)

2008年 7/9(水)

開場/17:45 開演/18:30

茨城県立県民文化センター

主催: TBSラジオ/チバエンタープライズ

■入場料: 6,000円  
(全席指定)

同窓会も応援し  
入場券を販売中!

■お問合せ: 茨城放送プロモーション 029-225-1621  
■チケット販売: 茨城放送プロモーション 029-225-1621  
茨城県立県民文化センター 029-241-1186  
茨城キリスト教高等学校同窓会 090-3498-0227  
京成百貨店プレイガイド 029-231-1111  
チケットぴあ 0570-02-9999  
www.mcbarbary.jp(コンサートコーナー)

★広告掲載(有料)希望される方ご一報ください

茨城キリスト教学園高等学校同窓会

**ZION**  
シオン No. 28

●発行日/平成20年5月1日  
●編集人/酒井博起 キャナン理枝子 佐藤寿子 手塚正子 荒川真理子 小沼和重  
●発行人/鈴木富志男  
●発行所/〒319-1295 茨城県日立市大みか町6-11-1 TEL.0294-52-3215 FAX.0294-53-9927 茨城キリスト教学園高等学校同窓会  
●http://zion.cool.ne.jp